

新型コロナウイルス緊急アンケート

日本共産党神戸市会議員団

日頃より、議員団のとりくみにご協力いただきありがとうございます。

神戸市でも、新型コロナウイルスの感染が確認され、市民の皆様に不安が広がっています。また、関連する経済的・社会的影響も多岐にわたり、深刻になっています。

これまで寄せられた声を市政に届け、一つ一つですが改善もはじまっています。同封の市会報告をごらんください。ひきつづき議員団として、新型コロナウイルスに関するご要望、不安、ご意見などを直接お聞きして、神戸市にきめ細やかな対応を求めていきたいと考えています。

同封の返信用封筒(切手不要)でお返しく下さい。あわせて署名へのご協力もおねがいます。

どんなことでも構いませんので、お困りごとや、ご要望など、お寄せください。

よろしければ、お名前、ご住所、電話番号をお書きください。

※お書きいただいた個人情報は、アンケート結果や資料等をお渡すために活用させていただきます。

● お名前 _____ ● 年齢 (_____)

● ご住所 〒 _____
神戸市 _____

● 電話番号 _____ - _____ - _____
ご協力ありがとうございました。

「教員同士の
いじめ・暴行」
「児童への
いじめ・体罰」
なぜ神戸で、
人権や
憲法を
無視した
ことが
おきるのか？——

教育 シンポジウム

11月16日(土)

午後2時開会 午後1時半開場

須磨パティオホール

(地下鉄名谷駅前)

参加無料



基調講演

藤森 毅

日本共産党
中央委員会
文教委員会責任者



司会

山本
じゅんじ

神戸市議員

パネリスト 保護者やいじめ・教育問題に取り組んでいる方を要請中

真に子どもたちの成長を支える学校づくりをごいっしょに考えましょう

主催 | 日本共産党神戸市議員団

神戸市中央区加納町6-5-1 神戸市議会内 電話322-5847 FAX322-6165 www.jcp-kobe.com

学校・教育の立て直しへ

神戸教員いじめ暴力問題

日本共産党市議団が調査・質問

東須磨小学校の教員間いじめ暴力問題。日本共産党神戸市議団は緊急の対応策実施や学校と教育の立て直しへ、市議会で全力を挙げています。

党市議団は須磨区選出の山本じゅんじ市議を先頭に同校の保護者から直接、悲痛な思いや要望をていねいに聞き取るなど独自調査を重ねています。

10月11日の市議会本会議場で総括質疑に立った大かわら鈴子市議は、同校と市教育委員会による3日の保護者説明会で、「真実を知りたい」という保護者の切実な声に対し市教委の担当者が「詳しいことを知りたければ情報開示請求を」と言い放って詳しく伝えなかったことを明らかにし、「垂水いじめ自死事案（注）の教訓を全く踏まえていない」と厳しく批判。「何よりも子どもたちと保護者に寄り添い、丁寧な説明と徹底した真相解明を」と求めました。長田淳教育長はこれまででの対応の間違いを認め「16日の説明会では丁寧に説明させていただく」と回答しました。

心のケアを

17日と21日の文教こども委員会では、朝倉えつ子市議と同校に通っていた味口としゆき市議が問題を掘り下げました。

朝倉市議は現校長から報告があったにもかかわらず、市教委が校長任せにしてきた問題を告発しました。

味口市議は「今回のいじめ、暴力、人権侵害は絶対に許されない」とした上で、かつて加害教員が担任だった児童が布団の中で泣いていたことなど深刻な影響を紹介。「拭えないくらい傷を子どもたちは抱えている」「いま何よりも大切なことは、児童と保護者の心のケア、被害教員の二次被害防止だ」と訴えました。市教委は「十分やっていきたい」と答弁しました。

また、加害教員の1人が教科書を忘れて3人の児童の足を踏んだり、椅子を引いて児童が転んで頭を打ったなど同校で体罰があったことを提示。前校長が被害教員からの聞き取りの際、前校長「お前、○（加害教員）のこと好きなんやな」、被害教員「はい」、前校長「じゃあお前はいじめられてないんやな」というやりとりがあったことも明らかにしました。

子どもの人権が尊重されない環境が教員の人権侵害も一体に生み出していることを指摘し「人権感覚の問題にメスを入れないと、この問題は絶対に直らない」と強調しました。

教訓活かせ

さらに垂水いじめ自死事案の教訓に、神戸の教育再生の手がかりがあると指摘。4月発表の神戸市いじめ問題再調査委員会調査報告書の「教師がSOSを出せる『チーム学校』のために」の章で、子どもの「命、権利、利益」を守るといふ理念や目的の共有が必要で、それは子どもの人権条約を教育現場に活かすこと

だ」と述べていることを紹介。今回の問題で「娘の死が無駄にならないためにも、今後の学校運営に提言を活かしてもらいたい」と述べた遺族のコメントを読み上げ、教訓を全面的に活かすよう求めました。

長田教育長は「子どもの権利条約を教育現場に活かすことが大事だということも十分念頭に置いて、今後の対策に活かしたい」と答えました。

息の長い支援を

また、前々校長が、大阪のように「これからは子どもが教師を選ぶ時代だ」そのため、クラスも学校も競い合わせねばならない」と競争教育を激化させることを当然視した発言を行うとともに、保護者に対しても暴言を述べていたことも明らかにしました。子どもの人権を尊重しない管理主義教育の歪みも指摘されています。

10月29日の市議会本会議で一般質問に立った今井まさこ市議は、何よりも子どもと保護者に寄りそい、保護者や児童が何を求めているかを聞くとともに、東須磨小学校の再生のために1年生の児童が卒業するまで息の長い支援を求めました。今後の調査では、教育、医学、心理などの専門家の力の結集が必要です。

日本共産党はなぜ教師間いじめや暴行、人権侵害が異常な形で横行したのか、徹底した真相解明へ全力をあげています。

【注】神戸市垂水区の市立中学校で、中3の女子生徒がいじめのため2016年10月に自死に追い込まれた事件。市教委幹部が、いじめを証言した生徒らの聞き取りメモを隠蔽（いんべい）するよう前校長に指示していました。

いじめや学校の悩みを私たちにご相談ください 一人で悩まず一緒に解決しましょう



東灘区 松本のり子 TEL414-8875 | 東灘区 西ただす TEL414-8875 | 灘区 味口としゆき TEL881-2581 | 兵庫区 大かわら鈴子 TEL577-7987 | 長田区 森本真 TEL642-0448 | 北区 朝倉えつ子 TEL591-4755 | 須磨区 山本じゅんじ TEL732-6578 | 垂水区 今井まさこ TEL753-5287 | 西区 林まさひと TEL919-6650

これまでも、これからも 「市民の宝」

敬老パス 福祉パス



神戸市は、今後の高齢者の増加を理由に、敬老・福祉パス制度の見直しを11月に表明し、来年度から実施しようとしています。

市民の移動について神戸市が責任を果たすためにも
現行制度の維持・拡充が必要です
制度充実の声を大きく上げ、改悪ストップさせましょう！



敬老・福祉パス 神戸市の改悪案

- ①敬老無料乗車券(年3万円)廃止
- ②近郊区の上限110円を廃止
三宮～神戸北町 250円・三宮～緑が丘 330円
- ③福祉パスから母子世帯の除外

私たちは改悪に反対です。神戸市が予算を増やすことで、現行制度を維持し、さらなる拡充を求めます。

敬老・福祉パス制度 **守る** たしかな力

市民意見募集と

(2020年1月10日まで)

署名にご協力を

(2020年2月上旬まで)

市民意見募集(1月10日まで)の提出方法

- ①郵送 〒650-8570
(住所不要 1/10 消印有効)
神戸市高齢福祉課
敬老・福祉パス意見募集宛
- ②FAX (078) 322-6046
- ③Email : pass_publiccomment@office.city.kobe.lg.jp
- ④持参 神戸市役所1号館4階 高齢福祉課(時間内)
- ⑤上記ホームページの意見送信フォームからの提出



<書き方例>

件名(必須): 敬老福祉パスの今後のあり方への意見
氏名(必須): _____ 住所(必須): _____

(意見)

- ①私は、敬老パスの無料券を利用しています。廃止されると、、、で困ります。絶対制度を残してください。
 - ②近郊区の上限がなくなると、これまでのように三宮まで気軽に外出して、、、ができなくなります。
- …などなど、自由に意見や提案をいくつでも書けます。

日本共産党神戸市会議員団

神戸市会報告 2019年12月号外
神戸市中央区加納町6丁目5-1 神戸市議会内
(tel)078-322-5847 (fax)078-322-6165

現行の敬老パス・福祉パス制度を維持し拡充を求める陳情署名

神戸市議会議員 安達 和彦 様

陳情趣旨

神戸市の敬老優待乗車制度・福祉乗車制度（以下：敬老パス・福祉パス）は、もともと無料だったものが有料となり5年前には生活保護世帯を制度からはずしました。これ以上の改悪は行わないでください。敬老パス・福祉パス制度は、高齢者や障害のある人などの日々の買物、通院、通学、通勤・通所、余暇活動等、様々な社会参加と移動支援になくてはならない制度です。これらのパスの利用により人と人が交流することで社会からの孤立を防ぎ、街の活性化や健康維持等にも大きな役割を果たしています。

神戸市は11月に、敬老パス・福祉パスについて「両制度とも、長期にわたって維持し続けることを目指します」と骨格維持を表明しましたが、「現状のままでは、困難」として、以下の3点について、市民の負担を増やそうとしています。

- (1) 敬老無料乗車券（年3万円）の全面廃止
- (2) バス近郊区110円上限を廃止（小児料金に）
- (3) 母子世帯の福祉パスから除外



私たちは敬老パス・福祉パス制度を維持するとともに、市民の社会参加や移動支援をさらに進めるために、市内のすべての公共交通機関で利用できるように制度拡充のために予算を増やすことを求めます。

陳情事項

1. 敬老パス・福祉パス制度の維持・拡充のために予算を増やすこと
2. 敬老無料乗車券の廃止、近郊区の110円上限の廃止をしないこと
3. 母子世帯の福祉パス制度からの除外をしないこと

氏 名	住 所

敬老・福祉パス制度をよくする会

〈呼びかけ団体〉

兵庫県労働組合総連合 兵庫県生活と健康を守る会連合会神戸市協議会 全日本年金者組合兵庫県本部 神戸支部協議会 兵庫県社会保障推進協議会神戸市協議会 兵庫障害者連絡協議会 神戸・市民要求を実現する会 神戸の交通問題連絡会（順不同）

◇連絡先：兵庫県生活と健康を守る会連合会神戸市協議会
〒652-0032 神戸市兵庫区荒田町1-7-2(兵生連内) TEL(078)599-5108